

名 称 等	沼津市内の連合自治会が台風 19 号の被害にあった 大平地区に災害見舞金を寄附
実施日時	令和元年11月15日(金曜日) 午後3時～
場 所	戸田地区センター 大会議室(戸田 1294 番地の 3 くるら戸田2階)
担 当	企画部地域自治課 直通 055-934-4716 内線 2275

1 内 容

市内 27 の地区連合自治会が、大平地区連合自治会に対し、台風 19 号に対する災害見舞金の寄附を行います。

(1)寄附金額 27 万円(1万円×27 地区連合自治会)

(2)参加者 沼津市自治会連合会 会 長 榊原 昭雄 (第四地区西連合自治会長)

幹 事 下山 義昭 (大平地区連合自治会長)

他 26 地区連合自治会長

2 経過・経緯

今年 10 月に上陸し、全国に多大な被害をもたらした台風 19 号により、当市内の大平地区においても大きな被害が生じました。

これを受け、沼津市自治会連合会で協議し、被害にあった大平地区連合自治会に対し、市内の 27 地区連合自治会が災害見舞金を寄附することとなりました。

※大平地区と水害

平成 29 年度には、大平地区のお米が、新嘗祭における皇室献上米に選ばれるなど、農業の盛んな大平地区では、地区内に河川や農業用水が流れていますが、山や狩野川に囲まれ、降雨時には自然排水が困難となる地域特性により、古くから浸水被害に見舞われてきました。

地区内には、各所に 200 基以上の石神・石仏が祀られていますが、これらは繰り返される水害などに対し、人々が神にすがる信仰の対象として、また暮らしの心のよりどころとして江戸時代頃に建立されたものと言われてしています。

今回の台風 19 号においても、多くの床上・床下浸水被害を受けましたが、水害とともに歩んだ同地区では、河川氾濫等ごみの散乱した地区内の清掃活動や、消防団を中心した夜を徹しての冠水道路への侵入を防ぐ交通誘導、ボートを用いて水や食料を配る中学生など、地区内に住む住民の方々が力を合わせ、いち早く復旧活動に携わる姿が報告されております。